



喜小だより



令和3年7月6日発行 発行者 齋藤孝之

自ら学ぶ子 思いやりのある子 健康な子

一人一人がきらきら輝く喜連川小学校

夏休み前の集大成の時期がやってきました！

2年生が生活科で育てている野菜が順調に育っています。写真は、ミニトマトの様子です。学校の畑で育てている3年生の茄子も順調で、子どもたちの手のひらよりも大きな茄子も見られます。収穫が楽しみです。

さて、6月30日（水）に分散型の授業参観1日目を実施いたしました。本年度初めての授業参観で、子どもたちもいつもより張り切って授業に参加している姿が見られました。保護者の皆様方も、密を避けていただいたり、会話をせずにご覧いただいたりと、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。2日目（7月7日（水））もどうぞよろしくお願いいたします。

7月に入り、いよいよ夏休みが近づいてきました。どの学年も授業への集中力が高まり「学びに向かう集団」になってきています。1時間1時間を大切にしながら、子どもたちの学びを、さらに支えていきたいと思えます。



授業参観 6月30日（水）

分散型の授業参観1日目の授業の様子です。初めての授業参観となった1年生をはじめ、久しぶりの参観となった2～6年生も、緊張しながらも頑張っている様子を保護者の皆様に見てもらおうと、いつもより真剣な表情で授業に臨んでいました。



クラブ活動 7月1日（木）

今年3回目のクラブ活動、活動にも、仲間にも慣れてきて、楽しそうに活動する子どもたちの姿がたくさん見られました。



挨拶いっぱい
笑顔いっぱい
元気いっぱい

学校運営協議会 6月30日(水)

喜連川小学校は、本年度からコミュニティスクールになりました。コミュニティスクールとは、学校運営協議会を設置した学校を指す言葉で、昨年度まで行っていた学校評議員制度に変わって、本年度から学校運営協議会を導入したことによる変更です。さくら市では、3年前から計画的に順番を決めながら、市内の小中学校を順次コミュニティスクールにしてきました。本年度、本校、喜連川中学校、氏家中学校が新たにコミュニティスクールになり、さくら市内の小中学校全てがコミュニティスクールになりました。

この日は、5校時の授業参観に合わせて来ていただいて子どもたちの様子を見ていただきました。その後、多目的室で校長から本校の学級経営方針について説明を聞いていただくとともに経営方針を了承していただき、最後に本校の課題の解消に向けた取り組みについて熟議を行いました。熟議では、今回は「あいさつ」について協議をしました。「あいさつ月間」を作って学校だけでなく家庭や地域が一体となった取り組みを行うこと、市の青少年センターの挨拶巡回運動の際と一緒に挨拶活動を行うこと等が、話し合われました。「あいさつ月間」の実施の際には、保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

学校運営協議会の委員の皆様を紹介します。

地域応援隊コーディネーターの小林雅子様、高野美智子様、人見喜子様、君嶋澄枝様、軽部勝子様、社会教育委員会委員長の津浦幸夫様、区長会第3行政区代表の田崎良美様、本校PTA会長の田代和也様、この8名に、校長及び教頭を含めて10名です。1年間、どうぞよろしくお願いいたします。



3年生 音楽科「リコーダーの練習」 7月2日(金)

ソプラノリコーダーは、3年生の音楽の時間に初めて登場します。この日は、授業応援隊の皆様にも来ていただき、指遣いを教わりながらリコーダー演奏を行いました。初めての楽器に悪戦苦闘しながらも、真剣な表情で、夢中で音を出す様子が見られました。



喜連川小学校のホームページです。ぜひご覧ください。



1年生 生活科「こうえんであそぼう」 7月2日(金)

春に続いて、お丸山に夏を見つけに行きました。青々と茂る草や木々を見ながら登っていきましたが、頂上に着く頃に雨が降ってきてしまいました。この日は、走り回ることはできませんでしたが、梅雨の季節を感じることができました。



ノート名人

本校では、学期に1回、手本となるようなノートを全校児童に紹介する機会を作っています。子どもたちの学力向上のための手立ての1つでもある「ノート名人」です。見やすく、復習の時も役に立つノートを作ることは、学習中に授業で習ったことを整理したり、友達の意見を参考にしながら自分の考えを書いたり、児童の思考力の向上にも役立ちます。今、各クラスの担任が選んだノートを、ラウンジに掲示しておりますので、学校にお越しの際にはぜひご覧ください。

ちなみに、本校では「青ペンくん」という名称で、授業中に発言した友達の考えなどを、青色の鉛筆で書き入れることを奨励しています。

